

ザ・家康クラシック

本と音楽の繰り交わる Vol. 3

2025年 7月23日 水 14:30 開演
(13:45 開場)

大田区民ホール・アプリコ大ホール (1階席のみ利用)

JR京浜東北線・東急多摩川線・池上線「蒲田駅」東口から徒歩3分 京急「京急蒲田駅」西口から徒歩7分

〈出演者〉中島裕康 (箏) 新倉瞳 (チェロ) 高橋多佳子 (ピアノ)
浦久俊彦 (ナビゲーター) ゲスト: 安部龍太郎 (作家)

全席指定 一般 3,000 円 (税込) / 中学生以下 1,000 円 (税込)

※未就学児の入場はできません。※車椅子席 (4 席) をご希望のお客様はお電話か窓口でお申しください。介添えお一人のみ、お隣にパイプ椅子をご用意します (無料)

オンライン 4月18日 金 12:00 ~

(24 時間対応) <https://www.ota-bunka.or.jp/>
※発売日から公演前日 19:00 まで座席をご予約いただけます (残席がある場合)



電話 4月23日 水 10:00 ~

大田区文化振興協会チケットセンター TEL: 03-3750-1555 (10:00 ~ 19:00)

窓口 4月24日 木 10:00 ~

各館窓口 / アプリコ、大田区民プラザ、大田文化の森
※上記 3 館は窓口販売 (10:00 ~ 19:00) のみとなります。電話予約は受け付けません。

■アプリコ: 東京都大田区蒲田 5-37-3 ■大田区民プラザ: 東京都大田区下丸子 3-1-3 ■大田文化の森: 東京都大田区中央 2-10-1

●直木賞作家・安部龍太郎氏をお迎えして、 家康公の「江戸時代」をキーワードに、邦楽と西洋音楽の魅力に迫る 「ザ・家康クラシック」

いにしえより、文字をもたない民族はあっても、音楽をもたない民族は存在しないといわれるほど、音楽や踊りは人が生きるために欠くことができないものでした。戦乱の世を生きた戦国武将たちもみな、普段は、能や謡を愛し、舞い、謡うことに夢中でした。信長が「幸若舞」をこよなく愛したことはよく知られていますし、家康と秀吉が同じ舞台に立って「静之舞」を舞ったという記録もあります。あまり歴史の表舞台には現れてこない、音楽からみた江戸文化と、同時代のドイツ・バロック期をつなげてみたら？ この企画では、徳川家康（1542～1616）と近代箏曲の創始者、八橋検校（1614～1685）と、西洋音楽の父、J.S. バッハ（1685～1750）という、生年没年で不思議とつながる三人の偉人をテーマにお届けします。特別ゲストに、『家康』の大著もある直木賞作家で、大田区在住の歴史作家、安部龍太郎氏を迎え、箏、チェロ、ピアノの三人の名手とともに、楽しい歴史トークや、おなじみの名曲を意外なアンサンブルでお楽しみいただく、江戸&バロック・スペシャルコンサートです。みなさま、ぜひお越しください。アーティストとともにアブリコでお待ちしております！

浦久俊彦

出演者



なかしまひろやす
中島裕康
(箏)



あらくわ るみ
新倉 瞳
(チェロ)



たかはしかこ
高橋多佳子
(ピアノ)



あべりゅうたろう
安部龍太郎
(作家)



うらひさとしひこ
浦久俊彦
(ナビゲーター)

プログラム

【第1部】

安部龍太郎氏と共に『家康』を語る

八橋検校：六段の調（箏）

J.S. バッハ：リュート組曲 第4番より「ロンド風ガボット」（箏）

J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲 第1番より「プレリュード」（チェロ）

J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲より「アリア」（ピアノ）

【第2部】

江戸時代の音風景

八橋検校：乱（箏）

ラフマニノフ：チェロ・ソナタより 第3楽章「アンダンテ」（チェロ&ピアノ）

ポッパー：ハンガリアン・ラプソディ（チェロ&ピアノ）

宮城道雄：春の海（箏&チェロ）

NHK連続テレビドラマ『瞳』メインテーマ（チェロ&ピアノ）／（作・編曲：山下康介）

NHK大河ドラマ『葵〜徳川三代』より（箏&チェロ&ピアノ）（作曲：岩代太郎 編曲：足本憲治）

*内容、演奏曲目は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

会場

大田区民ホール・アブリコ

東京都大田区蒲田 5-37-3

TEL：03-5744-1600 FAX：03-5744-1599

J R 京浜東北線・東急多摩川線・池上線「蒲田駅」東口から徒歩3分

京急「京急蒲田駅」西口から徒歩7分

駐車場：区営アロマ地下駐車場 30分/200円



ota_bunka



otabunkaart



大田区文化振興協会



大田区文化振興協会



otabunkaart